

保証書付

保証書はこの取扱説明書の裏表紙についていますので、
お買い上げの販売店の記入をお受けください。

家庭用

日立縦形扇風機 スリムファン(DCモーター)

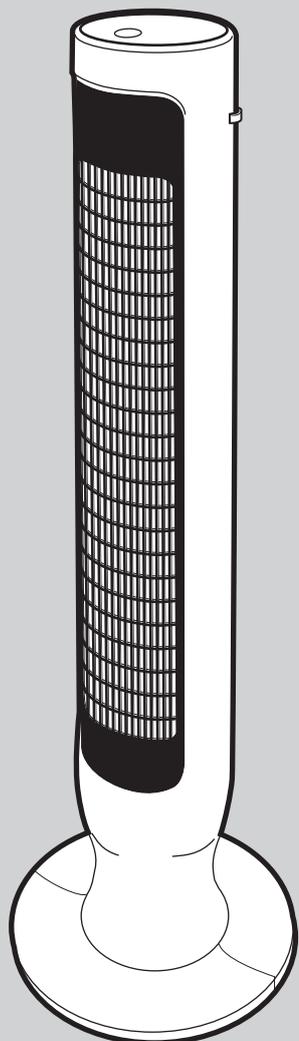
エイチエスエフ ディーシー

型式 HSF-DC930

このたびは、日立スリムファンをお求めいただき、まことにありがとうございました。

この「取扱説明書」をよくお読みになり、正しくご使用ください。

なお、お読みになった後は、大切に保存し、必要なときお読みください。



目次

■安全上のご注意	2
■使用上のご注意	3
■各部のなまえとはたらき	4
■リモコン	6
■組み立てかた	7
■使いかた	8
■お手入れのしかた	11
■保管のしかた	12
■故障かな?と思ったら	13
■仕様	15
■保証とアフターサービス	15
■長期使用製品安全表示制度に基づく 本体表示について	16
■ご相談窓口	17
■保証書	裏表紙

- このスリムファンは一般家庭用です。他の用途でのご使用はしないでください。思わぬ事故の原因となります。
- この製品は日本国内家庭用です。電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。
またアフターサービスもできません。
- 地震・火災など緊急時や異常時には、直ちに電源プラグを抜き、ご使用を中止してください。

⚠️ 注意

 <small>指示を守る</small>	本体に異常な振動が発生した場合は、 使用を中止する	 禁 止	本体組み立て時に指をはさみ込まない
 <small>電源プラグ を抜く</small>	使用時以外は、必ず電源プラグを コンセントから抜く けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電 火災の原因になります。		次の場所では使わない *ガスレンジなどの近く*引火性のあるところ *雨や水しぶきのかかるところ 炎の立ち消え、火災・感電の原因になります。
 <small>接触禁止</small>	送風口・吸込み口の中や可動部へ指など 絶対に入れない けがをするおそれや故障などの原因になります。		油、ほこり、溶剤や薬品などのつきやすい場所 や強い紫外線の当たる場所では使わない 破損・変形・故障などの原因になります。
 <small>指示を守る</small>	電池を廃棄、保存する場合は(+)(-)端子 部をテープなどで絶縁する 電池の発熱・破裂・発火の原因になります。		風を長時間、からだにあてない 健康を害することがあります。
 <small>禁 止</small>	髪を送風口、吸込み口に近づけすぎない 髪が巻き込まれけがをするおそれがあります。		障害物のそばや不安定な場所では使わない 転倒・破損・故障などの原因になります。

使用上のご注意

送風口や吸込み口を ふさがない	製品を引きずらない フローリング床のワックス掛けした後は、 ワックスが充分乾いてから本体を置く 跡が付いたり、ワックスが剥がれることがあります。	幼児の手の届くところでは使用しない 感電・ケガの原因になります。 リモコン受信部をかかさない 障害物があると、リモコンによる操作ができなくなります。
高温、高湿、水のかかる場所、 火気の近くでは使わない 変色、変形、感電、故障など の原因になります。	長時間直射日光に当てない 変色などの原因になります。 殺虫剤などをかけたりしない 変質・破損などの原因になります。	リモコンの取り扱いを大切に 踏んだり、落としたり、水をかけたりしないでください。 破損、故障の原因になります。 本体操作部に水などをこぼさない 操作の誤動作や故障などの原因になります。
リモコン受信部にインバーター照明器具や電子点灯照明器具等、または直射日光等強い光が当たる場所での設置は避けてください 表示ランプのちらつき、リモコンで動作しない場合があります。		

ご注意

- 電源プラグがコンセントに差し込まれていると、内部の基板の消費電力により操作部などの一部があたたくかかります。長時間ご使用にならないときは、節電のためにも電源プラグをコンセントから抜いてください。
 (運転を停止しても、電源プラグがコンセントに差し込まれていると約0.8Wの電力を消費します)
- 運転中に、停電や電源プラグが抜けた場合は「切」になります。始めから操作をやり直してください。

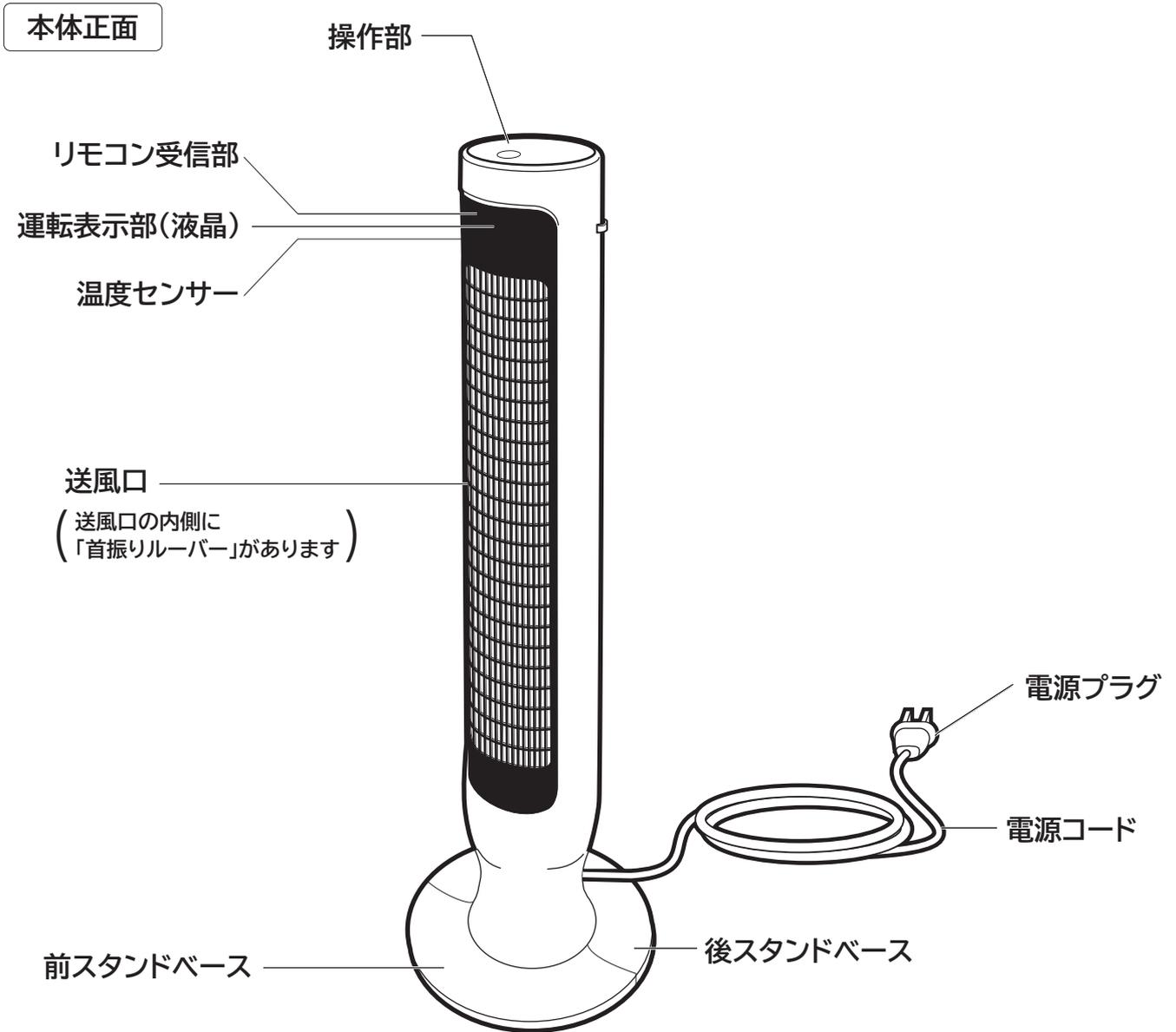
愛情点検



長年ご使用のスリムファンの点検を！

ご使用の際、 このような 症状はあり ませんか？	<ul style="list-style-type: none"> ● スイッチを入れても時々ファンが回転しないことがある。 ● 回転が遅い。または回転が不規則である。 ● 回転中に異常な音や振動がする。 ● モーター部が異常に熱い。 ● 焦げ臭い“におい”がする。 ● その他の異常がある。 ● 電源コードが折れ曲がったり破損している。 ● 電源コードに触れると、ファンが回ったり、回らなかったりと不安定。 	<div style="text-align: center; font-weight: bold; font-size: 1.2em;">▶</div> ご使用 中 止
		このような症状のときは、 故障や事故防止のため、 スイッチを切り、コンセント から電源プラグを抜いて、 必ず販売店に点検・修理を ご相談ください。

各部のなまえとはたらき



⚠ 警告

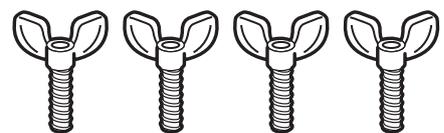
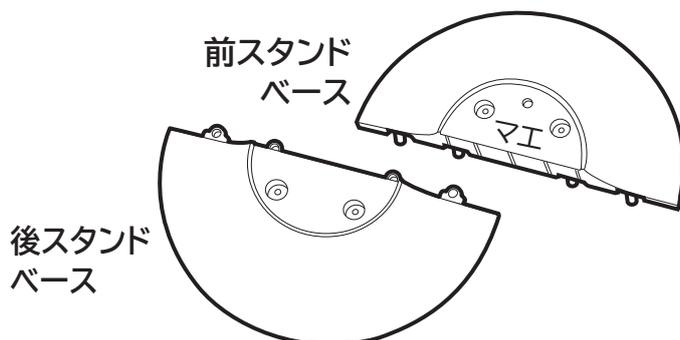


禁止

電源プラグを抜くときは、電源コードを持って抜かない
電源コードを引っ張ったりするとコードが破損し、火災・感電の原因になります。

同 梱

下図は緩衝材の中に収納されています。



ベース固定ネジ
(4本)

本体背面

リモコンホルダーフック

吸気フィルター
ロック・解除つまみ

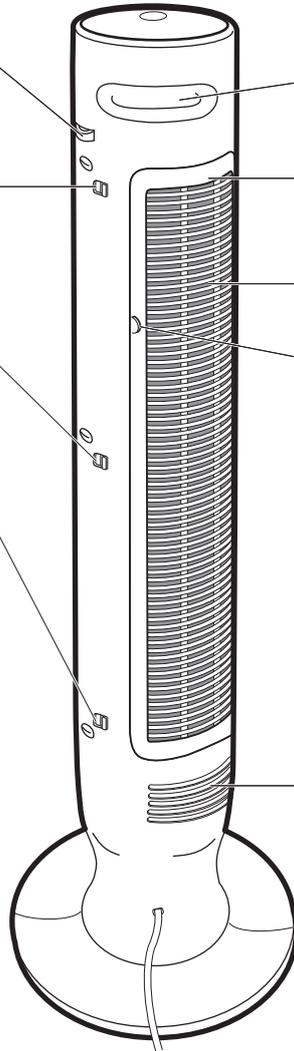
取っ手

吸気フィルター

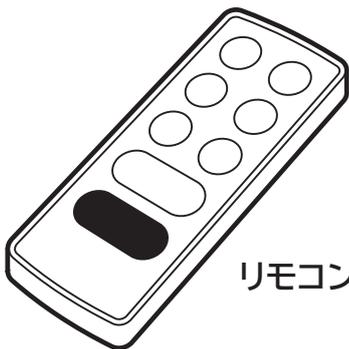
吸込み口

突起部

放熱口



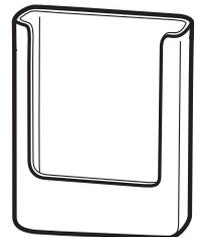
品



リモコン



二酸化マンガン
リチウム電池CR2025
(リモコン動作確認用)
※リモコンに入っています。

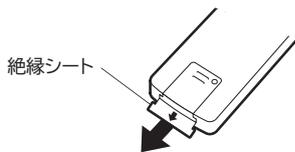


リモコンホルダー

リモコン

1 ご使用の前に

リモコン裏の絶縁シートを引き抜いてください。



ご注意 電池はリモコンに入っています。自己放電のため寿命が短くなっている場合があります。

お願い

- 電池の寿命を長くするため、長時間使わないときは、取り出しておいてください。
- 電池の破裂や液もれを防ぐため、(+)(-)を正しく入れてください。
- 充電・ショート・分解・火への投入・加熱はしないでください。
- 万一、液もれが起こったときは、よくふき取ってから新しい電池を入れてください。
- ボタンの操作は中央部を押してください。端を押したり、つめの先で押すと操作できないことがあります。また、破損の原因になることがあります。

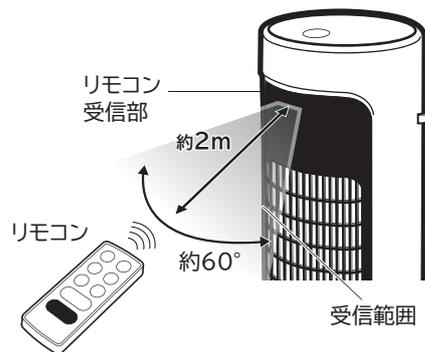
2 使用範囲

リモコン送信部をスタンドのリモコン受信部正面に向けて、お望みのボタンを押します。

※リモコンで操作できる距離はリモコン受信部正面で約2m以内です。

リモコン受信部に対して斜めになるほど、操作できる距離は短くなります。

(距離:約2m、水平方向左右:約60°)



ご注意

- 指定されたリモコン以外は使用しないでください。
- インバーター照明器具または電子瞬時点灯照明器具などを使用している部屋や受信部に直接日光が当たる場所では、表示ランプがちらついたり、リモコンで動作しない場合があります。
- 本体にさわっているときなどは、リモコンを操作しないでください。

お願い

- 動作しにくくなった場合は、電池を交換してください。
- 送信部とリモコン受信部の間に障害物がないようにしてください。

電池の交換のしかた

①ドライバー(サイズ:#1)などの先の細いプラスドライバーでネジを外してリモコンの裏ふたを矢印の方向に押し下げながら裏ふたを外します。

②古い電池を取り外します。

③新しい電池を正しく入れ、裏ふたをしめます。(⊕極を上にして正しく入れる)



リモコンホルダーの取り付けかた

リモコンホルダーは図のようにフックにひっかけてお使いください。



リモコンを使用しないときは、リモコンホルダーに収納してください。

ご注意

- 組み立てが完了するまでは、リモコンホルダーを取り付けしないでください。リモコンの落下によりけがや破損・故障の原因になります。

警告

	電池やリモコンを乳幼児のそばに放置しない 万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。また、乳幼児がリモコンから電池を取り出さないように注意してください。
	電池は誤った使い方をしない *指定以外の電池を使わない。*加熱・分解したり火の中に入れたりしない。*(+)と(-)は逆に入れない。 *ネックレスなどの金属物といっしょにしない。液もれ・発熱・発火・破裂などの原因となります。
	電池の液が皮膚や衣服についたら、きれいな水で洗い流す 万一、目に入った場合は、すぐにきれいな水で洗い流して、医師の診察を受けてください。失明の原因になります。

組み立てかた

包装箱は保管のときに必要ですので、捨てないでください。

⚠警告



禁止

組み立てが完了するまではコンセントに電源プラグを差し込まない
感電やけがをすることがあります。

スタンドベースを付けずに運転しない
転倒し、けがの原因になります。

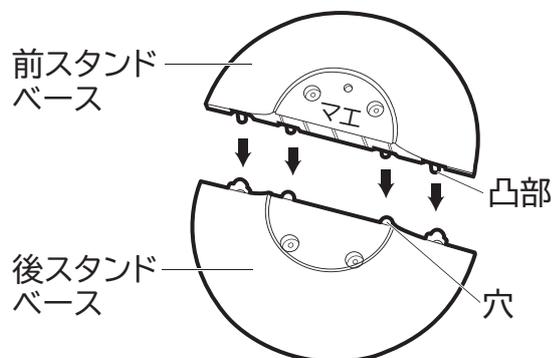
電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしない。また、重い物を載せたり、挟み込んだり、ステップルや釘などで固定しない
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

⚠注意

組み立て時に指をはさみ込まないようにご注意ください

1 スタンドベースを組み立てます。

スタンドベースの前・後を確認して前スタンドベースの凸部分を後スタンドベースの穴に差し込んでください。
※「マエ」マークが付いているものが前スタンドベースです。

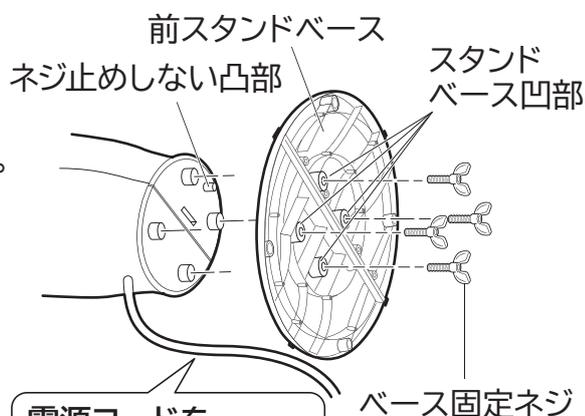
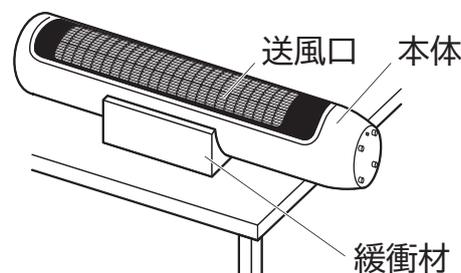


2 本体にスタンドベースを取り付けます。

- 送風口を上にして本体が動かないよう梱包の緩衝材を利用して本体を支えます。
- 本体の凸部分とスタンドベースの凹部分5ヶ所をはめこみます。

ご注意

- 「操作部」を下向きにしてスタンドベースを取り付けしないでください。「操作部」が故障・破損したり、机や床を傷つけることがあります。
 - 電源コードをはさみ込まないように気を付けてください。
 - 本体とスタンドベースの前・後を間違えないよう取り付けてください。
- 3 本体とスタンドベースを付属のベース固定ネジ4本で固定します。



電源コードをスタンドベースと本体に挟まないようにしてください。

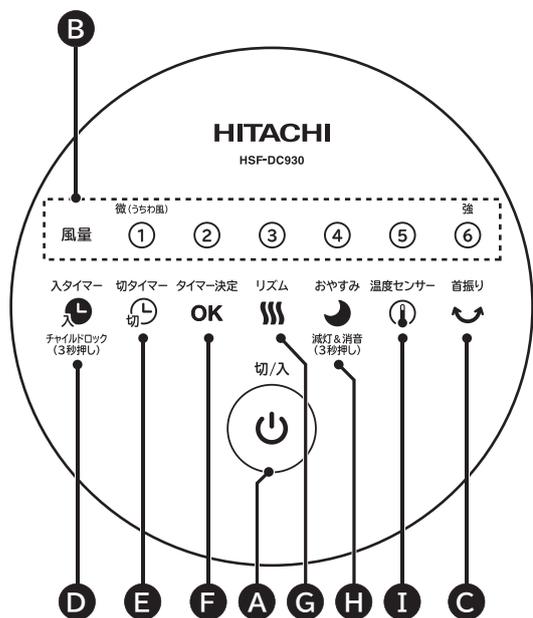
ご注意

- 組み立ては机などの上で行ってください。
- 電源コードがスタンドベースと本体にはさまれると電源コードを傷めて火災や故障の原因になります。

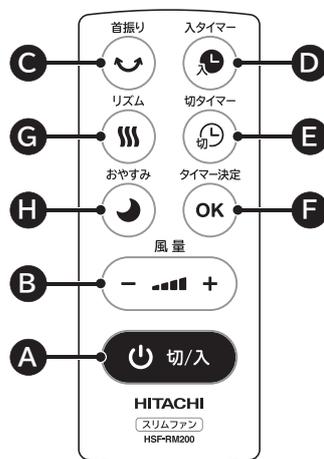
使いかた

操作部名称

表示部



本体
HSF-DC930



リモコン
HSF-RM200



A 切/入	運転停止、運転開始を行います。
B 風量	微～強の6段階で風量を選択できます
C 首振り	首振りの開始、停止を行います。
D 入タイマー チャイルドロック	入タイマー時間を選択できます。(1～9時間 1時間毎) チャイルドロックを設定します。※3秒長押し ※リモコンではチャイルドロックは設定できません
E 切タイマー	切タイマー時間を選択できます。(1～9時間 1時間毎)
F タイマー決定	タイマー時間を決定します。
G リズム	リズム運転を設定します。
H おやすみ 減灯&消音	おやすみ運転を設定できます。(2・10時間) 減灯と操作音の消音を設定します。※3秒長押し ※リモコンでは減灯&消音は設定できません
I 温度センサー	温度センサー運転を設定します。 ※リモコンでは温度センサー運転は設定できません

■ 運転の開始 **A**

電源プラグをコンセントに差し込んでください。

⏻ を押し、電源を入れます。

※前回ご使用の風量とモードで運転開始します。(おやすみ運転は除く)
(運転開始の数秒間はモーターの回転を安定させるため風量「3」で開始します。
またモーターから「カチカチッ」等の音がしますが異常ではありません)
※電源プラグを抜かれた場合は風量「3」で運転開始します。

■ 風量 **B** の設定

お好みの風量をタッチし、風量を設定します。 ※リモコンの+ボタンは、押すごとに風量が切り替わります。

■ リズム運転 **C** の設定

⏮ をタッチし、設定します。再度タッチすると解除できます。

■ おやすみ運転 **D** の設定

「おやすみ2時間」 → 「おやすみ10時間」 → 「解除」

🌙 をタッチし、設定します。タッチするごとに2・10時間・解除に切り替わります。

※「切タイマー」を設定している場合「おやすみ運転」は設定できません。一度「切タイマー」を解除してください。

⚠️ ご注意 ● おやすみ運転は **🌙** をタッチして、離れた時に設定されます。約3秒タッチし続けると減灯&消音を設定されます。

モードの説明

リズム ● 1~6の各風量6段階ごとに、風量が1~6と切でリズムカルに変化します。お好みに合わせて風量、切タイマー設定ができます。

※おやすみ運転と同時設定はできません。

おやすみ

● 設定すると右図の風量「3」で運転開始します。

● お好みに合わせて風量が切り替えられます。設定された風量から約20分ごとに自動的に風量を下げます。(右図参照)

おやすみ10時間 設定後約10時間で運転停止します。切タイマー時間の切り替えはできません。

おやすみ2時間 設定後約2時間で運転停止します。切タイマー時間の切り替えができます。入タイマー設定はできません。

● 切タイマーはおやすみ運転設定後に切り替えてください。先に切タイマーを設定するとおやすみ運転の設定はできません。

● 切タイマーを決定後に時間を変更する場合は一度運転を停止して再設定してください。 ※リズム運転と同時設定はできません。

■ 切・入タイマーの設定はP10を参照してください。

風量の下がり方
(設定例:おやすみ2時間設定の場合)



※温度センサー運転と同時設定はできません。

■ 温度センサー **E** の設定

「つよめ」 → 「よわめ」 → 「解除」

🌡️ をタッチし、設定します。タッチするごとに「つよめ・よわめ・解除」に切り替わります。

※温度を感知し、「つよめ・よわめ」と設定されたモードによって設定風量値から、約28℃未満で自動的に風量を切り替えます。

※温度センサー設定時、風量キー・おやすみキーをタッチすると、温度センサー運転は解除されます。

(リモコンの+ボタン・おやすみボタンを押しても解除されます。)

※設定モードに応じた風量は下記の表の通り設定されています。

つよめ:風量切替の変化が大きいです。(2段階ずつ)
よわめ:風量切替の変化が小さいです。(1段階ずつ)
*設定モード・風量に関わらず風量切替の最小値は「1」です。

設定風量 ^{※1}	1	2	3	4	5	6	
設定モード:つよめ	約28℃ ^{※2} 未満	1	1	1	2	3	4
	約25℃ ^{※2} 未満	1	1	1	1	1	2
設定モード:よわめ	約28℃ ^{※2} 未満	1	1	2	3	4	5
	約25℃ ^{※2} 未満	1	1	1	2	3	4

※1.28℃以上では設定した風量で運転します。

※2.温度は目安です。感知する温度は、同じ室内でも場所によって温度が異なるため、室内の温度計と差が出ることがあります。

使いかた(つづき)

首振り◎の設定

首振り角度は左右55°
※内部の首振りルーバーで首振りを行うため本体自体は回転しません。



をタッチするごとに「首振り開始」「首振り停止」を行います。

減灯&消音Ⓜの設定

※リモコンでは減灯&消音は設定できません。

を約3秒間タッチし、減灯&消音を設定します。

再度約3秒間タッチするとピッと音がして解除できます。(設定時は音は鳴りません)

※設定後、液晶表示が暗くなり、操作音が消えます。解除すると元に戻ります。

※液晶表示は明るさを制御しているので、ちらつく場合がありますが故障ではありません。

切・入タイマーⓓⓔⓕの設定

お好みの時間に合わせ、運転を停止、開始できます。

「切」「入」タイマーを同時に設定できます。

切タイマーのみの設定

① 切 をタッチし、切時間を選択します。

② OK をタッチし、切時間を決定します。

※数字が点滅から点灯に変わります。
※設定時間になると、運転を停止します。



※ 切 をタッチするごとに時間が切り替わります。
※設定時間は、切・入タイマーとともに現在時刻をスタートとしています。
※タイマー設定時間は、目安時間です。

入タイマーのみの設定

① 入 をタッチし、入時間を選択します。

② OK をタッチし、入時間を決定します。

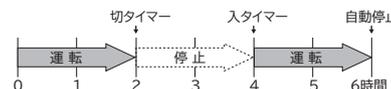
※数字が点滅から点灯に変わり自動的に運転が止まります。
※設定時間になると、運転を開始します。
※入タイマーで運転を開始した場合の風量は「3」で開始し、約2時間後に自動で停止します。

切・入タイマー同時設定

切タイマーを設定します。
※入タイマーを先に設定することはできません。

入タイマーを設定します。
※切タイマー設定時間より遅い時間でしか設定できません。
設定できない時間は点滅しません。

設定例:切タイマーを2時間、入タイマーを4時間で設定した場合



- ご注意**
- 時間設定は1分以内に行ってください。設定がクリアされます。
 - 各時間決定後の時間変更できません。設定後の解除・変更の場合は、一度運転を停止してください。
 - 入タイマーは、入 をタッチして、離れた時に反応します。約3秒タッチし続けるとチャイルドロックが設定されます。

チャイルドロックⓓの設定

を約3秒間タッチし、ピッと音がして「チャイルドロック」を設定します。

解除するときは、再度 を約3秒間タッチしてください。ピッと音がして解除します。

チャイルドロックを設定すると、「切」以外のすべての操作ができません。

※次回運転を開始する時は、チャイルドロックを解除してください。 ※リモコンではチャイルドロックは設定できません。
※安全上、「切」ボタンのみ操作できるようになっています。

ランプが点灯します

チャイルドロック

運転の停止ⓐ

を押して電源を切ります。 ※「切/入」ボタンを押して、液晶表示が消えても、内部の首振りルーバーは正面を向くまで停止しません。

- ご注意**
- 運転停止時に「風量」「リズム」「タイマー」などのタッチキーをタッチしても作動しません。
 - 運転中の停電や電源プラグが抜けた場合はすべて最初からの操作になります。
 - 万一、操作不能になってしまった場合、いったん電源プラグをコンセントから引き抜き、再び差し込んでから操作してください。

- お願い**
- タッチキーや本体「切/入」ボタン、リモコンスイッチの操作は中央部を押してください。端を押したり、つめの先で押すと操作できなくなります。また、破損の原因になることがあります。

お手入れのしかた

警告



電源プラグ
を抜く

お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く、または分電盤のブレーカーを切るぬれた手で抜き差ししない感電やけがをすることがあります。



禁止

本体とスタンドベースなどを取り外す際は、電源プラグをコンセントから抜く感電やけがをすることがあります。

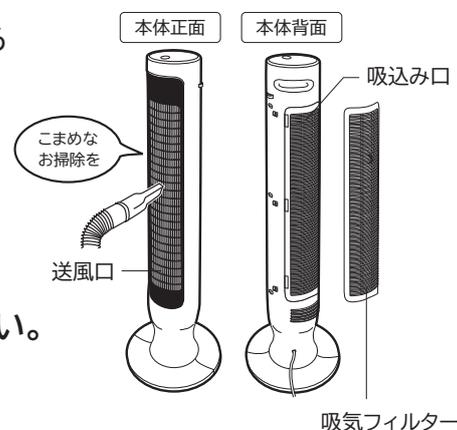
本体のお手入れ

- 送風口と吸込み口についたホコリは掃除機でこまめに吸い取ってください。
- 汚れは水またはうすめた中性洗剤を含ませたやわらかい布をよく絞ってからふいてください。

※お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

ご注意

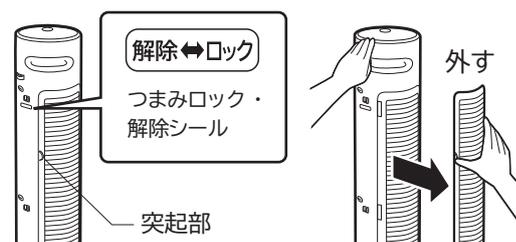
- 本体を分解してのお手入れはできません。
- ガソリン、シンナー、ベンジン、ワックス、灯油、アルコールなどの揮発性の溶剤類、みがき粉、アルカリ性洗剤などは使わないでください。
※プラスチックや塗装面が変色したり、劣化・破損するおそれがあります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- プラスチック部品に油をつけないでください。※変色したり劣化・破損するおそれがあります。
- 印刷面や塗装面を強くこすったり、鋭利なもので傷つけたりしないでください。



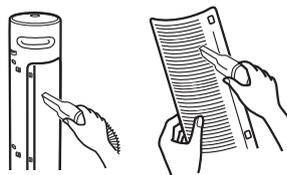
吸気フィルターのお手入れ(1週間に1回程度)

1 外しかた

- ① つまみ(3カ所)を解除方向にスライドさせる。
※つまみのロック・解除シールは図のとおり、一番上のつまみ1カ所に表示しています。
- ② 本体を支えながら突起部に指をひっかけて、外す。



2 掃除機でほこりを取り除く



ご注意

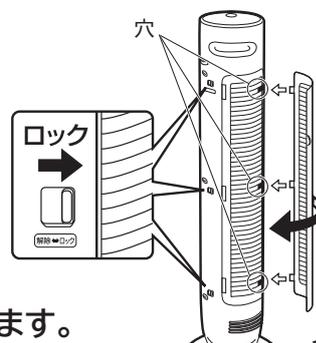
- 水洗いを行う場合、やわらかい布やスポンジに水を含ませ、軽くふいてください。無理に強くふくとやぶれたり、はがれるおそれがあります。

3 取り付けかた

- ① 本体の穴(3カ所)に吸気フィルターの凸部(3カ所)を差し込んではめる。
- ② つまみ(3カ所)をロック方向にスライドさせる。

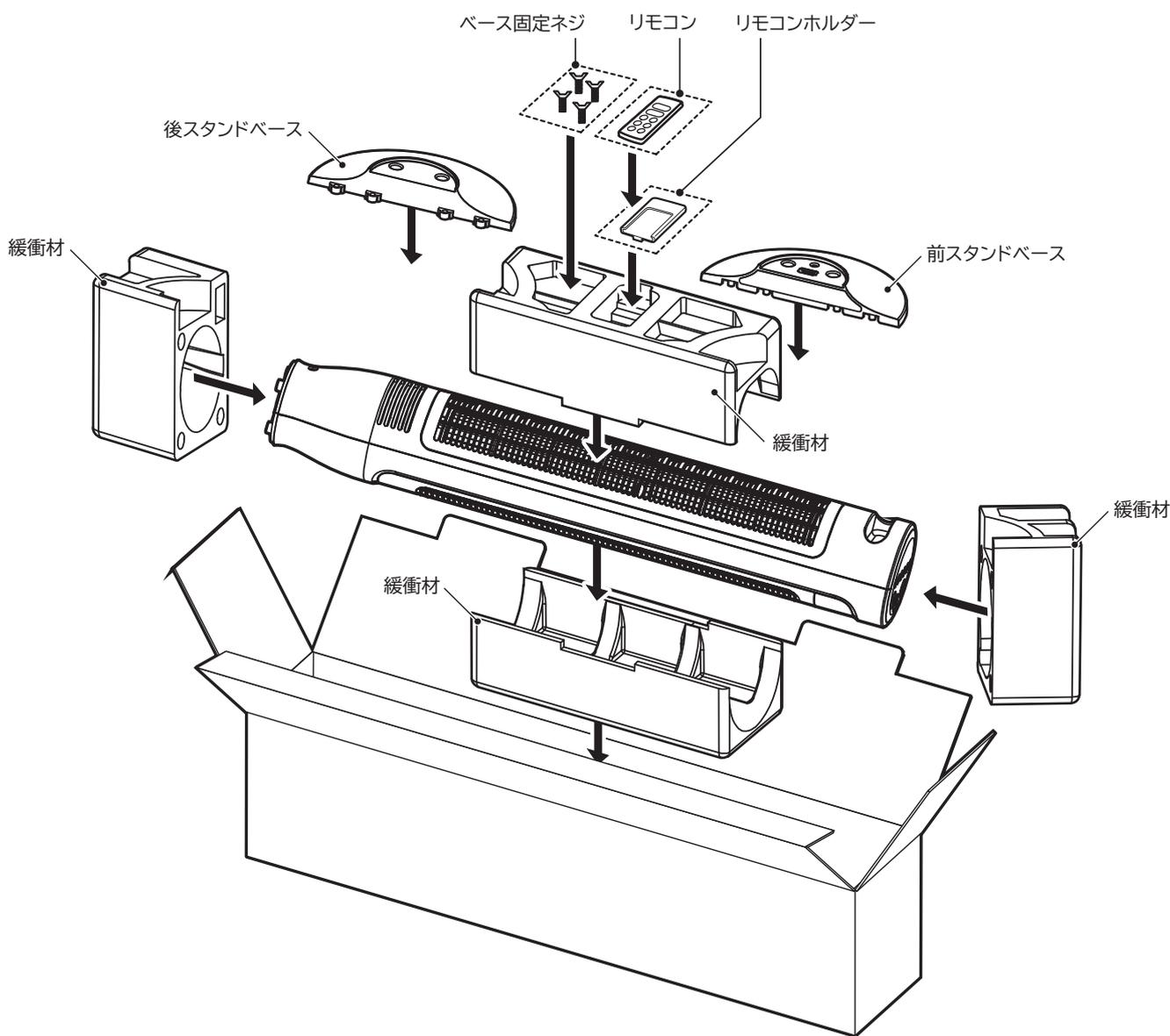
ご注意

- 吸気フィルターのつまみ(3カ所)しっかりロックしないと吸気フィルターの脱落や振動・騒音の原因となります。
- 細かいほこりや砂などは、フィルターではとれない場合があります。



保管のしかた

お買い求めになったときの包装箱に収納し、直射日光を避けて、湿気の少ないところに保管してください。
また、電源コードは緩衝材と製品に挟まれないように、ビニール袋を被せて収納してください。
スリムファン本体を包装箱へ収納する際は、組み立てと逆の手順で分解し、収納するときは下記および包装箱の表示を参照してください。



ご注意

- 本体、スタンドベースなどの汚れは「本体のお手入れ」P11を参照してお手入れを行ったあと保管してください。
- リモコンを長期間使用しない場合は、リモコンから電池を外してください。

故障かな?と思ったら

下記の事をお確かめになり、それでも調子が悪いときはただちにご使用を中止し、お買い上げの販売店またはご相談窓口(☎P17)にお問い合わせください。

症状	点検するところ	直しかた
首振り動作中に送風音が大きくなる	● 左側へ首振りする時は右側に比べて、送風音が大きくなります	● 故障ではありません。
首振り動作が一定ではない	● 左右への首振り中に動作が一定ではなく、一瞬止まったりする場合があります	● 故障ではありません。
温度センサーの風量切替温度とお部屋の温度計が合わない	● 同じ室内でも場所によって温度が異なるため、室内の温度計と差が出ることがあります	● 故障ではありません。
停止しても本体が動いている	● 「切/入」ボタンを押して、液晶表示が消えても、内部の首振りルーバーは正面を向くまで停止しません。	● 故障ではありません。
低速運転時や首振り運転中の音が気になる	● モーターや首振りモーターなどの運転音です。	● 故障ではありません。
風量が変わるときや設定風量によっては「ウォーン」等の音がする	● モーターの回転を制御するときに発生する特有の音です。	● 故障ではありません。
運転開始後「カチカチツ」等の音がする	● 運転開始の数秒間はモーターから音がします。	● 故障ではありません。
ファンが回転しない	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源プラグがコンセントから抜けていませんか? ● 「切/入」ボタンは押しましたか? ● ご家庭のヒューズ、ブレーカーが切れていませんか? ● チャイルドロックを設定しませんでしたか? ● 運転中、送風口に何か異物が入り、ファンの回転を強制的に止めていませんか? 	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源プラグをコンセントに差し込んでください。 ● 「切/入」ボタンを押してください。 ● チャイルドロックを解除してください。(P10参照) ● ファンの回転を止めているものを取り除き、電源プラグをコンセントから抜き再度入れなおして操作、または約10秒以上経ってからリモコン/本体操作してください。 <p>※異物を取り除いて、すぐに操作入力してもファンは回転しません。モーターの安全制御で回転を止めておりますので、約10秒以上経ってから操作してください。</p>

故障かな?と思ったら(つづき)

症状	点検するところ	直しかた
タッチキー操作を受けつけない	<ul style="list-style-type: none"> ● アイコン以外をタッチしていませんか? ● タッチキーに汚れや水滴などが付着していませんか? ● 操作する手に手袋やばんそうこう等をして操作していませんか? 又、つめで操作していませんか? ● チャイルドロックを設定しませんでしたか? 	<ul style="list-style-type: none"> ● 操作したいアイコンをしっかりとタッチしてください。 文字をタッチしても受け付けません。 ● 乾いた布などでしっかりとふき取ってください。 ● 操作するときは、直接指で操作してください。 ● チャイルドロックを解除してください。(P10参照)
リモコンで動作しない(ときどき動作しない)	<ul style="list-style-type: none"> ● 「切/入」ボタンは押しましたか? ● リモコンの電池が消耗していませんか? ● 電池の入れかた(⊕ ⊖の方向)が間違っていないですか? ● 入タイマーは入っていませんか? ● チャイルドロックを設定しませんでしたか? ● インバーター照明器具や電子瞬時点灯照明器具等、または直射日光等強い光が当たる場所で使用していませんか? 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「切/入」ボタンを押してください。 ● 電池を交換してください。 ● 電池を正しく入れ直してください。 ● もう一度「切/入」ボタンを押してください。 ● チャイルドロックを解除してください。(P10参照) ● 本体向きや位置を変えて下さい。
風量が弱い	<ul style="list-style-type: none"> ● 何かが吸込み口をふさいでいませんか? ● 吸込み口・吸気フィルターにほこりがたまっていますか? 	<ul style="list-style-type: none"> ● ふさいでいるものを取り除いてください。 ● ほこりを掃除機で取り除いてください。 こまめなお掃除をおすすめします。(P11参照)
自動で運転停止した	<ul style="list-style-type: none"> ● 切タイマーを設定しませんでしたか? ● 入タイマーを設定しませんでしたか? ● おやすみ運転を設定しませんでしたか? 	<ul style="list-style-type: none"> ● 切タイマーを設定すると、設定時間になると自動的に運転を停止します。(P10参照) ● 入タイマーのみの設定をすると、自動的に運転が止まります。(P10参照) ● 入タイマーで運転を開始した場合、約2時間で運転を停止します。(P10参照) ● おやすみ運転で切タイマーを設定しない場合は、約10時間、または2時間で運転停止します。(P9参照)
液晶表示が暗くなり、操作音がしない	<ul style="list-style-type: none"> ● 減灯&消音設定をしませんでしたか? 	<ul style="list-style-type: none"> ● 減灯&消音を押して解除してください(P10参照)
操作部やその周囲があたたかい	<ul style="list-style-type: none"> ● 「切/入」ボタンを含むタッチキーや表示は正常ですか? 	<ul style="list-style-type: none"> ● 故障ではありません。内部の基板の消費電力が約0.8Wあります。 その熱量の影響です。

仕様

この製品は、日本国内家庭用です。電源電圧や、電源周波数の異なる海外では、使用できません。またアフターサービスもできません。

型 式	HSF-DC930
定 格 電 圧 (V,Hz)	100(50/60)
定 格 消 費 電 力 (W) ^{※1} _{※2}	18
最 大 風 速 (m/min) ^{※1} _{※3}	310
風 量 (m ³ /min) ^{※1} _{※3}	5.8
外 形 寸 法 (mm)	幅280×奥行280×高さ940
質 量 (kg)	約3.7
コ ー ド の 長 さ (m)	約1.7
風 量 設 定	微～強の6段階
切・入タイマー(時間)	1～9(1時間毎)
首 振 り 角 度	約55°(内部首振り)
リ モ コ ン	あり

※1 風量最大運転時の値です。 ※2 首振り運転のときの値です。

※3 測定条件:送風口を上中下の3等分に分け、各部中央3ヶ所の送風口から算出した数値の平均値

保証とアフターサービス (必ずお読みください)

アフターサービス等について、おわかりにならないときは、お買い上げの販売店またはご相談窓口(☎P17)にお問い合わせください。

保証書	保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。 保証期間はお買い上げの日から1年です。	
修理を依頼される ときは 持込修理	保証期間中は	修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って修理させていただきます。なお、修理内容によっては商品交換にて対応させていただきます。
	保証期間が 過ぎているときは	修理して使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。なお、修理内容によっては、有料にて商品交換で対応させていただきます。
補修用性能部品の 保有期間	スリムファンの補修用性能部品を製造打ち切り後8年間保有しています。 ●補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。	
ご転居されるときは	ご転居によりお買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。	
修理料金のしくみ	修理料金=技術料+部品代などで構成されています。	
	技術料	診断、部品交換、調整、修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器などの設備費、一般管理費などが含まれます。
	部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

本体への表示内容

経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために、電気用品安全法で義務付けられた以下の内容の表示を本体に行っています。



【製造年】本体に西暦4桁で表示してあります

【設計上の標準使用期間】10年

設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

設計上の標準使用期間とは

- 運転時間や温湿度など、標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。
- 設計上の標準使用期間は、保証書に記載の無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。

- **標準的な使用条件** 日本工業規格(JIS C9921-1)による

環境条件	電圧	単相交流100V
	周波数	50Hz / 60Hz
	温度	30℃
	湿度	65%
	設置条件	標準設置(取扱説明書による)
負荷条件		定格負荷(風速)(取扱説明書による)
想定時間等	1日あたりの使用時間	8(h / 日)
	1日使用回数	5(回 / 日)
	1年間の使用日数	110(日 / 年)
	スイッチ操作回数	550(回 / 年)
	首振運転の割合	100(%)
注記 環境条件の湿度65%は、JIS Z 8703の試験状態を参考としている。		

- 「経年劣化」とは長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

ご相談窓口

家電品についてのご相談や修理はお買上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理に関するご相談窓口

TEL 0120-3121-68
携帯電話・PHSから 0570-0031-68 (有料)
FAX 0120-3121-87
(受付時間)9:00~18:00(月~土)、9:00~17:00(日・祝日)

商品情報やお取り扱いについてのご相談窓口

TEL 0120-8802-28
携帯電話、PHSからもご利用できます。
FAX 0120-3121-34
(受付時間)9:00~17:30(月~土)、9:00~17:00(日・祝日)
年末年始は、休ませていただきます。

- 「持込修理」および「部品購入」については、上記窓口にて各地区のサービスセンターをご紹介します。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社や協力会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- 修理をご依頼いただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。
- 保証期間中の修理依頼時は、保証書をご提示ください。
- 上記窓口の内容は、予告なく変更させていただく場合がございます。

長期使用についてのご相談は日立長期使用製品安全表示制度窓口へ

TEL 0120-3121-11

携帯電話・PHSから 050-3155-1111 (有料)

(受付時間)9:00~17:30(月~土)、9:00~17:00(日・祝日) 年末年始は、休ませていただきます。

- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。

愛情点検



長年ご使用のスリムファンの点検を！

ご使用の際、
このような
症状はあり
ませんか？

- スイッチを入れても時々ファンが回転しないことがある。
- 回転が遅い。または回転が不規則である。
- 回転中に異常な音や振動がする。
- モーター部が異常に熱い。
- 焦げ臭い“におい”がする。
- その他の異常がある。
- 電源コードが折れ曲がったり破損している。
- 電源コードに触れると、ファンが回ったり、回らなかったりと不安定。

ご使用
中 止

このような症状のときは、
故障や事故防止のため、
スイッチを切り、コンセント
から電源プラグを抜いて、
必ず販売店に点検・修理を
ご相談ください。

本書および本機の使用により生じた損失、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても当社では一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。改良のため、仕様の一部を予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

日立グローバルライフソリューションズ株式会社

〒105-8410 東京都港区西新橋二丁目15番12号 (日立愛宕別館)

日立縦形扇風機 スリムファン保証書 持込修理

保証期間内に取扱説明書、本体ラベル等の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用していて故障した場合には、本書記載内容にもとづきお買い上げの販売店が無料修理いたします。

お買い上げの日から下記の期間内に故障した場合は、商品と本書をお持ちいただき、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

なお、商品をお買い上げの販売店(修理申出先)やメーカーへ送付した場合の送料等はおお客様の負担となります。お客様にご記入いただいた保証書の写しは、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させて頂く場合がございますので、ご了承ください。

型式	HSF-DC930		※お買い上げ日			保証期間
			年	月	日	本体：1年
※お客様	ご住所	〒	-	様		
	ご芳名					
※販売店	住所	〒	-	TEL		
	店名					

※印欄に記入のない場合は無効となりますので必ずご確認ください。

- 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
 - (イ) 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
 - (ロ) お買い上げ後の落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
 - (ハ) 火災、地震、風水害、落雷、その他天災地変、塩害、公害、ガス害(硫化ガスなど)や異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)による故障及び損傷。
 - (ニ) 一般家庭用以外《例えば業務用等への長時間使用及び車両(車載用を除く)、船舶への搭載》に使用された場合の故障及び損傷。
 - (ホ) 業務用に使用されて生じた故障または損傷。
 - (ヘ) 本書のご提示がない場合。
 - (ト) 本書に型式、お買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
- この商品について出張修理をご希望の場合には、出張に要する実費を申し受けます。
 - ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
 - 贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には、ご相談窓口(☎ 17 ページ)にご相談ください。
 - 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。
 - 本書は日本国内においてのみ有効です。
Effective only in Japan.

- この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはご相談窓口(☎ 17 ページ)にお問合わせください。
- 保証期間経過後の修理や補用性能部品の保有期間については取扱説明書の「保証とアフターサービス」(☎ 15 ページ)をご覧ください。

修理メモ

 日立グローバルライフソリューションズ株式会社

〒105-8410 東京都港区西新橋二丁目15番12号(日立愛宕別館)

電話 03-3502-2111